

「子どもの成長」

挑戦問題『みんなの力で幼児を笑顔いっぱいにしよう！』

本単元で育成する資質・能力

挑戦・探究 知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 協力・協働 感謝・貢献

1 単元で目指す学ぶ姿

乳幼児に関心を持ち、幼児の発達の状況に応じた関わり方を工夫し、実践する姿

資質・能力		評価	評価基準
知識・理解 技能	知識・技能	S	自らの経験を振り返り、幼児の特徴をふまえた活動を通して問題を解決するとともに、別の問題の解決の見通しも得ることができる。
		A	自らの経験を振り返り、幼児の特徴をふまえた活動を通して問題を解決することができる。
		B	自らの体験を振り返り、幼児の特徴をふまえた活動を行うことができる。
		C	自らの体験を振り返り、幼児の特徴をふまえた活動を行うことができない。
生活を工夫し創造する能力	情報収集 判断	S	幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ、幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。
		A	幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。
		B	幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。
		C	幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。
	思考 表現	S	遊びや遊具の意義を理解し、幼児にあったおもちゃや遊びを工夫し、改善することができる。
		A	遊びや遊具の意義を理解し、幼児にあったおもちゃや遊びを工夫することができる。
		B	遊びや遊具の意義を理解し、幼児にあったおもちゃや遊びを考案することができる。
		C	遊びや遊具の意義を理解し、幼児にあったおもちゃや遊びを考案することができない。
生活や技術への関心・意欲・態度	挑戦 探究	S	幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようとして新しいことに挑戦する事ができる。
		A	幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようとして粘り強く考えている。
		B	幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようとして考える努力をしている。
		C	幼児とのふれあい体験で幼児を笑顔いっぱいにしようとするのをあきらめている。
	責任 使命	S	幼児を取り巻く大人としての役割や使命を考え、生き方の目標を見つけて出すことができる。
		A	幼児を取り巻く大人としての役割や使命を考え、実践することができる。
		B	幼児を取り巻く大人としての役割や使命を理解し、果たそうと努力することができる。
		C	幼児を取り巻く大人としての役割や使命を理解することができない。
	協力 協働	S	仲間と協力して、幼児を笑顔にするための意見を出し合い、まとめ実践することができる。
		A	仲間と協力して、幼児を笑顔にするための意見を出し合い、まとめることができる。
		B	仲間と協力して、幼児を笑顔にするための意見を出し合うことができる。
		C	幼児を笑顔にするために仲間と協力することができない。
	感謝 貢献	S	自分にできることを具体的に考え、実践し、家族との絆を深めようとしている。
		A	支えてくれた家族や地域の人に感謝の気持ちをもって、自分にできることを考えることができる。
		B	支えてくれた家族や地域の人に感謝の気持ちをもつことができる。
		C	感謝の気持ちを持つことができない。

<単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック>

【評価方法】

授業中の観察およびワークシート、提出物等、生徒には、次の資質・能力のルーブリックのAとS基準を示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。

2 単元について

(1) 生徒観

中学生のこの時期は、心身の成長がアンバランスで、体は大きく成長しているが、精神の成長が追いついていない状態が多い。大人扱いされたい気持ちがありつつ、行動が伴わず、自我の芽生えから反抗的な態度をとったりする時期でもある。保育の分野は3年生で履修するが、広南中学校の3年生は、広南地区の狭い地域の中で、少人数の変化のない集団で幼児のころから育ってきており、感情のままに表現するので、仲間とのトラブルも多く、家族に対しても同様なトラブルになることもよくある。その反面、小さな兄弟がいる生徒もおり、幼児との関わりは少なからずあるので、支える立場としての自分の役割を考えるきっかけになればと思っている。

(2) 単元観

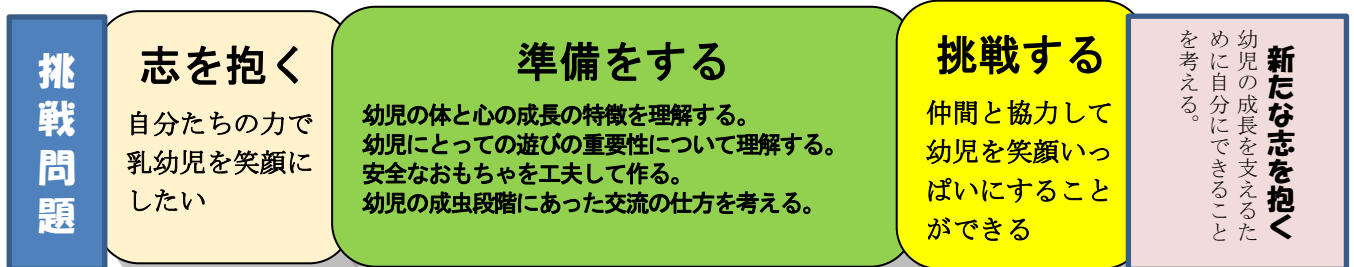
思春期真っただ中にある自分と家族や家庭生活との関わりについて考え、自分の成長や生活は家族やそれにかかわってきた地域の人々に支えられてきたことについて気付くようにする。すべての命が望まれて誕生したもので、何もできない乳児の状態から、たくさんの愛情を受けて、少しずつ時間をかけてできることが増えて今の自分があること、それには多くの人々が助けてくれたことに、乳幼児期の特徴を学習する中で気付き、家族をはじめ、支えてくれたすべての人に感謝する気持ちを育てたい。この単元は道徳との関連付けもできるので、「家族愛」「地域社会への貢献」などの授業とも連動できると考える。

(3) 指導観

遊び道具の製作や乳幼児と触れ合う活動などの実践的・体験的活動を通して、幼児に関心を持ち、幼児の心身の発達と幼児の生活、それを支える人々の役割、遊びの意義を理解し、幼児との関わり方を工夫できるようにするのが目標であるが、実際に幼児と関わる機会は限られている場合が多いので、視覚的教材を用いての学習や自らの体験を振り返ること、遊び道具の製作や保育体験学での幼児の観察。ふれあいを通して幼児への理解の深めさせたい。また育児中のゲストティーチャーを招いて話を聞く機会を設けることで、親としての思いや願い、乳幼児を取り巻く大人としての立場を意識させ、自分にできることを考え、実践していこうとする意欲を持たせたい。

さらにこの学習を通して、幼児期を中心として自分を支えてくれた家族や地域の人々への感謝の気持ちを持ち、かけがえのない自分という存在を改めて認識できるようにしたい。

① 挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する。



② 振り返り時間（5分）の充実

ワークシートや振り返りシートの記入や、その時間のキーワードを確認することによって、学習した内容の確認をする。視聴覚教材を用いて、情報収集の時間を短縮し、思考する時間を多く持つようにする。

③ 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

思春期（反抗期）の真っただ中にある生徒に、幼児期のことを聞くという課題を出すことで、家族からの聞き取りをさせて自分の成長の様子や親の苦労した話を聞いて振り返らせたり、おもちゃ調べをさせて楽しいだけではない様々な工夫があることに気づき、自らの製作に生かす。家族との会話を増やし、感謝の気持ちを持たせるようにし、家族とともによりよく生活していこうという意欲を持たせたい。

④ ワークシート・ノート指導の工夫

幼児の生活の一場面を切り取った図や写真などの視覚的教材を多く用いて、幼児期を想起しやすくし、「自分はこうだった」「今度はこうしてあげよう」という具体的な関わり方を考えられるように、具体的な事例を多く取り上げたワークシートを作成した。

⑤ 評価の工夫

広南学園の資質・能力のSルーブリックを活用し、教科の目標に準拠した評価活動を行う。

3 単元の見目

幼児の体や心の成長の特徴を理解し、幼児の成長段階にあった関わり方をする事ができる。自分も子どもが育つ環境の一つとして自分ができることを考え、社会に貢献できるようになる。

4 単元の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
幼児の成長や生活に関心を持つようとしている。【知識・理解】 積極的に幼児に関わり、幼児の特徴や生活習慣、遊びの特徴を理解しようとしている。【挑戦・探究】	幼児の遊びの特徴を理解して、幼児にあった遊びを考える事ができる。【思考・表現】 仲間と協力して幼児との交流会を企画することができる。【協力・協働】 幼児の成長に合わせたおもちゃを作ることができる。【思考・表現】 支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、自分にできることを考えることができる。【感謝・貢献】 幼児の成長を支えるために自分にできることを考えることができる。【責任・使命】	幼児の成長に合わせて安全に配慮しながら幼児と遊ぶことができる。【挑戦・探究】	幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。【情報収集・判断】 幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。【知識・技能】

5、 指導と評価の計画 (全14時間)

	学習内容	評価 (○は主に「指導に生かすための評価」、●は主に「記録するための評価」)					
		関	工	技	知	○評価規準 (評価方法) ★資質・能力の評価 (評価方法)	
1	○幼いころを振り返る。(めあて) 成長した自分を自覚し、どのように成長してきたかを振り返る。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 情報の収集 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・生命誕生のVTRを視聴し、生命の大切さを学ぶ。 ・就学前・小学生の自分を思い出し、どんな人と関わってきたかを振り返ってみる。 (まとめ) たくさんの人の支えがあって成長できることを理解する。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 課題の設定 </div> 成長した自分は支える側として何ができるかという疑問を持つ。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 挑戦問題 「みんなの力で幼児を笑顔いっぱいにしよう」 </div>	◎				(生活や技術への関心・意欲・態度) ●幼児の成長や生活に関心を持つようとしている。 (振り返りシート)	★【知識・技能】 (資質・能力ルーブリック)
		○				(生活や技術への関心・意欲・態度) ○挑戦問題に挑戦しようとする意欲を持つことができる。 (振り返りシート)	

1	<p>○幼児の体と心の発達を理解する。</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) 幼児の身体の発達の特徴を理解しよう。</p> <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児のVTRを見て、今の自分たちとの違いに気付く。 ・図やグラフからその特徴をつかむ。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の身体の特徴と成長が激しいことの原因をグループでまとめる。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達や成長には順序や個人差があることがわかる。 				<p>(生活や技術についての知識・理解)</p> <p>○資料から幼児の成長の特徴をつかむことができる。(ワークシート)</p> <p>(生活や技術についての知識・理解)</p> <p>◎ ●幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)</p>
1	<p>○幼児の生活と心身の発達の特徴を理解する。</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) 幼児の気持ちを理解しよう。</p> <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の幼児期の気持ちを思い出しながら、様々な場面と幼児の表情から幼児の気持ちを考える。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで小さいころの悲しかったことを出し合う。 ・言葉の発達について考える。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 家族や周囲の人によって心の発達が促されることがわかる。</p> <p>復習課題 家族に聞いてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の幼児期を振り返り、成長を実感する。 				<p>(生活や技術についての知識・理解)</p> <p>◎ ●幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。(振り返りシート)</p> <p>(生活や技術についての知識・理解)</p> <p>○ ●幼児の成長と家族とのかかわりを理解している。(振り返りシート)</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)</p>

1	<p>○幼児の生活の特徴と家族の役割を理解する。</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) トイレや歯磨きなどがいつ一人でできるようになったか考えてみよう。</p> <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の一日の生活の流れを図から読み取る。 ・基本的な生活習慣がいつできるようになったか思い出して、グループで情報交換する。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活リズムと照らし合わせて、生活習慣がどのように身についてきたかを考える。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人との関わりで生活習慣の形成が図られることを理解する。 <p>予習課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものころによく遊んだ遊びとおもちゃを家族に聞いてくる 			<p>(生活や技術についての知識・理解)</p> <p>◎ ● 幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。(振り返りシート)</p> <p>○ ○ 周囲の人のかかわりが幼児の成長に影響することを理解している。(振り返りシート)</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力グループ)</p>
1	<p>○幼児の遊びの特徴と意義について考える。</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) 幼児の遊び方と遊びの意味を理解しよう。</p> <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼ごっこをした時の気持ちを思い出してみる。グループで意見交流する。 ・どんな遊びをしていたか出し合う。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼ごっこでどんな能力が引き出されるか考える。 ・そのほかの遊びから、どんな能力を身につけているかを考える。 			<p>(生活や技術についての知識・理解)</p> <p>◎ ● 幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。</p> <p>○ ○ 遊びによって様々な能力が身につくことを理解できる。(ワークシート)</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力グループ)</p>

	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 年齢で遊び方が違うこと、いろんな力が身につくことがわかる。</p> <p>予習課題 好きだったおもちゃ、家にあったおもちゃを調べてくる。</p>					
1	<p>○遊びの道具や絵本、遊びの環境について考える。</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) 子どもにとって良いおもちゃと遊ぶ環境はどんな条件なのか理解しよう。</p> <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分か好きなおもちゃはどんな理由だったかを思い出す。 ・おもちゃや遊具でどんな遊び方をしたか、グループで意見交流する。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃや遊具での遊び方が場所によってどのように変わるかグループで考える。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) ・成長を助ける大切なツールであることに気付く。</p>				<p>◎</p> <p>(生活や技術についての知識・理解) ●幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)</p>
1	<p>○保育体験学習に向けて</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) ・保育体験学習で課題を見つけ、幼児との関わり方を工夫しよう。</p> <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな絵本が読み聞かせるのに良いか考える。 ・年齢にあった遊びをするためにどんなおもちゃが良いか考える。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児と交流するときの目標を 			◎	<p>(生活を工夫し創造する能力) ●幼児の遊びの特徴を理解して、幼児にあった遊びを考える事ができる。</p>	<p>★【協力・協働】 (資質・能力ルーブリック)</p>

	<p>設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢ごとにグループで最適と思う絵本と遊び（おもちゃ）を決定する。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 年齢に応じた内容を考えることができた。</p> <p>予習課題 どんなおもちゃを作るか、作り方や材料を調べてくる。</p>					<p>(生活を工夫し創造する能力)</p> <p>○年齢にあった遊びを考えることができる。(ワークシート)</p>	
3	<p>○交流のための道具（おもちゃなど）を製作する。</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) 幼児のことをイメージしておもちゃを作ろう。</p> <p>創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意しているか。 ・対象児をイメージしているか。 ・ていねいに作っているか。 <p>まとめ</p> <p>(まとめ) 幼児の特徴や遊びに異議を踏まえたおもちゃ作りができた。</p>		◎			<p>(生活を工夫し創造する能力)</p> <p>●幼児の成長に合わせたおもちゃを作ることができる。</p> <p>(生活を工夫し創造する能力)</p> <p>○幼児のことを考えたおもちゃ作りができる。(授業観察)</p>	<p>★【思考・表現】</p> <p>(資質・能力ルーブリック)</p>
2	<p>○幼児とのふれあい体験</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) 安全に配慮して、手作りのおもちゃと読み聞かせで、子どもたちを笑顔にしよう。</p> <p>創造・表現</p> <p>グループごとに発表。交流を行う</p> <p>復習課題 ふれあい体験での幼児の様子や感じたことをレポートにまとめる。</p>		◎			<p>(生活の技能)</p> <p>●幼児の成長に合わせて安全に配慮しながら幼児と遊ぶことができる。</p> <p>(生活の技能)</p> <p>○幼児の活動に合わせて工夫して一緒に遊ぶことができる。(観察)</p>	<p>★【挑戦・探究】</p> <p>(資質・能力ルーブリック)</p>

1	<p>○感謝の気持ちを伝える。</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) 保育所の子どもたちに感謝の気持ちを伝えよう。</p> <p>整理・分析・まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験後にまとめた意見や体験の様子を情報交換する。 <p>創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が喜ぶお礼状を工夫して制作する 				<p>(生活を工夫し創造する能力)</p> <p>●支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、自分にできることを考えることができる。(振り返りシート)</p> <p>(生活を工夫し創造する能力)</p> <p>○感謝を伝えるための工夫をすることができる(制作物)</p>	<p>★【感謝・貢献】</p> <p>(資質・能力ルーブリック)</p>
1	<p>○乳幼児を育てている人から話を聞く。</p> <p>課題の設定</p> <p>(めあて) ゲストティーチャーの話を聞いて自分にできることを考える。</p> <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの話を聞く。 出産前のこと 出産後のこと 困ること うれしいこと 中学生に伝えたい事 <p>整理・分析・まとめ</p> <p>(まとめ) 自分の成長を支えてくれた人々に感謝し、自分にできることを考えて実行する。</p> <p>復習課題 レポートにまとめる。</p>				<p>(生活を工夫し創造する能力)</p> <p>○ゲストティーチャーの話から子育ての苦労や楽しさなどを聞いて自分の成長を振り返ることができる(ワークシート)</p> <p>(生活を工夫し創造する能力)</p> <p>●支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、自分にできることを考えることができる。(振り返りシート)</p>	<p>★【責任・使命】</p> <p>(資質・能力ルーブリック)</p>

6 本時の学習（1時間目／全14時間）

- (1) 本時の目標 一人ひとりが大切な存在であり、たくさんの支えがあって今の自分があることに気づく。
 (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（「-----」）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識をもつ。 ○命の誕生を考える。 ・「生命の誕生」のVTRを視聴し、力強く成長する胎児の様子を理解する。</p> <p>課題の設定</p> <p>○何もできなかった自分がどうやって一人でできることが増えたのか、自分の成長を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9ヶ月かけて成長する胎児と変化する母体の様子から、生命の誕生が簡単ではないことを理解させる。 ・胎児の時期から「生きている」ことが実感できるようにする。 ・本単元の目標を資質・能力のルーブリックで共有する。 	<p>○生活や技術への関心・意欲・態度 幼児の成長や生活に関心を持つようとしている。 積極的に、幼児の特徴や生活習慣、遊びの特徴を理解しようとしている。</p>
<p>めあて 「成長した自分を自覚し、どのように成長してきたかを振り返る。」</p>		
<p>情報の収集</p> <p>2 食事の仕方や排泄の仕方を考えてみる。 ・グループで意見を出し合う</p> <p>整理・分析</p> <p>・親だけではないことに気づく。 ・気付いたことを発表させ、共有する。</p> <p>まとめ</p> <p>3 本時のまとめを行う。（5分） 4 本時を振り返り、次時につなげる。（5分） ・振り返りシートを書く。 ・予習課題を知る。</p>	<p>・自分に関わった人々を思い起こさせる。</p> <p>両親 家族 幼稚園・保育所の先生 地域のおじさん、おばさん</p> <p>生徒のまとめ例 幼児はいろんな人の力をもらって、支えられて成長するんだ。</p>	<p>★知識・技能 S 自らの経験を振り返り、学んだことを活用して問題を解決するとともに、別の問題の解決の見通しも得ることができる。 A 自らの経験を振り返り、学んだことを活用して問題を解決することができる。 B 自らの体験を振り返り、学んだことを活用することができる。 C 自らの体験を振り返り、学んだことを活用できない。</p>
<p>挑戦問題 「子どもたちを自分たちの力で笑顔にしよう」の提示</p>		
<p>○ルーブリックの提示をする</p>		

7 本時の学習（2時間目／全14時間）

- (1) 本時の目標 幼児の体の成長の特徴を理解する。
 (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（「――」）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識をもつ。 ○幼児の体の感覚を体験してみる。（手の動きや幼児の視野）</p> <p>課題の設定</p> <p>めあて 「幼児の体の成長の特徴を理解しよう」</p> <p>・本時の目標をループリックで理解する。</p> <p>情報の収集</p> <p>2 幼児の成長の様子を図や写真で観察する。 ・体格の違い ・成長度合いの違い ・歯や骨格の違い</p> <p>整理・分析</p> <p>3 グループで意見交換する ・幼児の成長の特徴とその理由を考え、発表する。 ・成長と行動の変化に気づく。</p> <p>まとめ</p> <p>4 本時のまとめを行う。（5分）</p> <p>5 本時を振り返り、次時につなげる。（5分） ・振り返りシートを書く。 わかったことと、新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。</p> <p>・予習課題を提示する。（2分）</p>	<p>・今の自分との違いに疑問を持つ。</p> <p>・こんなに動かなかったかな？</p> <p>・身長・体重の増加がすごい。 ・頭の割合が大きい。</p> <p>・身長に対して頭高の割合が大きいのは幼児期に脳が発達することと関連づける。</p> <p>・成長に伴って周りの大人の支援が変わることに気づき、体と心の発達は関係があることに気づかせる。</p> <p>◆机間指導</p> <p>生徒のまとめ例 ・幼児がよく転ぶのは頭が大きいからだ ・成長には個人差があるんだ</p>	<p>○生活や技術についての知識・理解 幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。 幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。</p> <p>★情報収集・判断 S 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ、幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。 A 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。 B 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。 C 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。</p>

9 本時の学習（4時間目／全14時間）

- (1) 本時の目標 幼児の生活の特徴と家族の役割について理解する。
 (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（ <u> </u> ）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>・復習課題を発表させる。（2分） 1 課題意識をもつ。（3分） ・家族から聞き取りしてきた事を発表する。</p> <p>課題の設定</p>		<p>○生活や技術についての知識・理解 幼児の成長の特徴や遊びの意義を理解している。 幼児の体と心の発達に関心を持ち幼児の成長の特徴を理解している。</p>
<p>めあて 「食事や排泄がいつ一人のできるようになったか考えてみよう。」</p>		
<p>・本時の目標をルーブリックで理解する。</p> <p>情報の収集</p> <p>2 幼児期と今の生活行動を比べて考える。 ・幼児と中学生の生活リズムの違いに気づく。 ・それぞれの時期にお世話になった人を書き加えてみる。</p>	<p>◆ ・睡眠時間が多い ・おやつのある時間がある ・遊びの時間が多いなど</p>	<p>★情報収集・判断 S 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけ、幼児を取り巻く環境への見方を広げることができる。 A 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から選び出すことができる。 B 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から想像することができる。 C 幼児の生活や発達の特徴を幼児の様子から見つけることができない。</p>
<p>整理・分析</p> <p>3 食事を一人で食べられるようになるためにどんな関わり方が良いか考える。 ・排泄が一人でできるためにはどう支援したらよいかも考えてみる。</p>	<p>・年齢毎にどんな言葉がけ、働きかけをすれば良いか、支援をどのようにすれば良いか具体的考えさせる。 ・生活習慣を身につけるためには、周囲の人的・物的環境を整える事が大切であることに気づかせる。</p>	
<p>まとめ</p> <p>4 本時のまとめを行う。</p> <p>5 本時を振り返り、次時につなげる。 ・振り返りシートを書く。 わかったことと、新たに疑問に思ったことなどを文章で記述する。</p> <p>・予習課題を提示する。（2分） 子どもの頃によく遊んだ遊びとおもちゃを家族に聞いてくる。</p>	<p>生徒のまとめ例 ・いろいろな人との関わりが大切である。 ・成長にあった言葉がけが大切である。 ・グッズを使うことも有効である。など</p>	

1 2 本時の学習（7時間目／全14時間）

- (1) 本時の目標 幼児との触れ合いに関心を持ち、学習したことを踏まえて、自分の課題を設定し、具体的ななかかわり方を考え、工夫することができる。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（「-----」）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識をもつ。（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育体験学習を実施することを 知る。 <p>課題の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育体験学習の目的を理解させる。 	<p>○生活を工夫し創造する能力 幼児の遊びの特徴を理解して、幼児にあった遊びを考える事ができる。</p>
<p>めあて 「保育体験学習の課題を見つけ、幼児との関わり方を考え、工夫しよう。」</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標をループリックで理解する。 <p>情報収集・思考・分析</p> <p>2 計画を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流する時間と幼児のクラスを確認する。 グループごとに読み聞かせの本を選定する。 遊ぶおもちゃを考える。 <p>まとめ</p> <p>3 体験学習の具体的な行動計画をグループごとに発表する。</p> <p>4 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ほかのグループの発表を聞いた感想や参考になるものがあつたかをシートに書く。 ワークシートを提出し、教師の評価を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流するクラスの年齢を考慮した内容になるよう既習事項を思い出させる。 施設や幼児の様子、保育士の関わり方など観察する観点を与え、課題が設定できるよう指導する。 マナーや安全面の留意事項を確認しておく。 <ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせは、道徳の時間に練習する。 	<p>★協力・協働</p> <p>S 仲間と協力して、幼児を笑顔にするための意見を出し合い、まとめ実践することができる。</p> <p>A 仲間と協力して、幼児を笑顔にするための意見を出し合い、まとめることができる。</p> <p>B 仲間と協力して、幼児を笑顔にするための意見を出し合うことができる。</p> <p>C 仲間と協力することができない。</p>

1 3 本時の学習（8～10時間目／全14時間）

- (1) 本時の目標 幼児の年齢や発達の特徴を考へて、身の回りの物を材料にして幼児が喜ぶ遊び道具を作る。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（┌───┐）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識をもつ。</p> <p>課題の設定</p>		
<p>めあて 「幼児のことをイメージして、幼児が笑顔になるおもちゃを作ろう。」</p>		<p>○生活を工夫し創造する能力 幼児の成長に合わせたおもちゃを作ることができる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標をループリックで理解する。 		
<p>2 制作にあたって留意することを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象時の年齢・発達の特徴 ・制作材料 ・安全性 ・そのほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達や遊びの特徴など、これまでに学習したことを考慮するよう助言する。 	
<p>思考・表現</p>		<p>★思考・表現</p>
<p>3 おもちゃ制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで検討しながら協力して作業を進める。 幼児が楽しんで遊べるか 年齢を考慮しているか 安全に配慮しているか 	<p>次のことを確認しながら机間指導をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいに製作しているか ・安全に配慮されているか ・遊びが持続できるものになっているか 	<p>S 遊びや遊具の意義を理解し、幼児にあったおもちゃや遊びを工夫し、改善することができる。</p> <p>A 遊びや遊具の意義を理解し、幼児にあったおもちゃや遊びを工夫することができる。</p> <p>B 遊びや遊具の意義を理解し、幼児にあったおもちゃや遊びを考えることができる。</p> <p>C 遊びや遊具の意義を理解し、幼児にあったおもちゃや遊びを考えることができない。</p>
<p>まとめ</p>		
<p>4 製作レポートのまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの年齢のどういうところに着目して、どんな工夫をしたかをレポートの書く 		
<p>5 ワークシートのループリックをみて、本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを提出し、教師の評価を受ける。 		

15 本時の学習（13時間目／全14時間）

- (1) 本時の目標 保育所の子どもたちに感謝の気持ちを伝えよう。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（┌───┐）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育体験学習の振り返りをする。気付いた事、感想を出し合う。 <p>課題の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との交流わかったこと、感じた事、自分の心の変化などを発表させ、共有させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・かわいかった ・作ったおもちゃで楽しく遊んでくれてうれしかった ・先生が子どもみんなを見ていた ・けがをしないよう配慮がしてあった </div>	<p>○生活を工夫し創造する能力 支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、自分にできることを考えることができる。</p> <p>★感謝・貢献 ルーブリック （ワークシート）</p>
<p>めあて 「保育所の子どもたちに感謝の気持ちを伝えよう。」</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標をルーブリックで理解する。 <p>思考・表現</p>		<p>S 自分にできることを具体的に考え、実践し、家族との絆を深めようとしている。</p> <p>A 支えてくれた家族や地域の人に感謝の気持ちをもって、自分にできることを考えている。</p> <p>B 支えてくれた家族や地域の人に感謝の気持ちをもって、自分にできることを考えようとしている。</p> <p>C 感謝の気持ちを持っていない。</p>
<p>2 交流した幼児に向けてメッセージカードなどを製作する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が喜んでくれるような工夫をするよう指導する。 	
<p>3 グループごとにクラスの様子とカードの工夫した点について発表する。</p> <p>まとめ</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・年少のクラスなので簡単な言葉で書いた。 ・○○してくれたのがうれしかったのでそのことを書いた。 ・喜んでくれるよう、キャラクターの寄せ書きにした。 </div>	
<p>4 ルーブリックをみて、本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。</p>		

16 本時の学習（14時間目／全14時間）

- (1) 本時の目標 実際に子育てをしている人から話を聞いて、自分たちができることを考える。自分の成長を振り返り、家族に感謝の気持ちを持つ。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆） 予想される児童の反応 	評価規準〔観点〕 教科の評価の観点（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識をもつ。 保育体験学習を思い出す。 今の社会の様子について知っていることをあげてみる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">課題の設定</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">めあて 「子育ては本当に大変な事ばかりなのか?考えてみよう」</div> <p>・本時の目標をループリックで理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">情報の収集 <p>2 ゲストティーチャーの話聞く。 2人の初産，1人の経産婦の方に話を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">整理・分析 <p>3 質問タイム いろいろ聞いて育児の実際を知る。</p> <p>4 ふれあいタイム 実際に赤ちゃんに触れ合って個人差があることを実感する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">まとめ <p>4 本時のまとめを行う。 ゲストティーチャーから中学生へのメッセージをもらう</p> </div></div></div>	<p>写真や新聞記事などを提示し、イメージしやすくする。保育体験時の感想をいくつか読む。</p> <p>・親になるとはどういうこと？ ・今、大変な事と楽しいこと？</p>	<p>○生活を工夫し創造する能力 支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、自分にできることを考えることができる。</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>★責任・使命 ループリック （ワークシート）</p> <p>S 幼児を取り巻く大人としての役割や使命を考え、生き方の目標を見つけ出すことができる。</p> <p>A 幼児を取り巻く大人としての役割や使命を考え、実践をすることができる。</p> <p>B 幼児を取り巻く大人としての役割や使命を理解し、果たそうと努力することができる。</p> <p>C 幼児を取り巻く大人としての役割や使命を理解していない。</p> </div>
<p>生徒のまとめ 親に感謝したい。 自分にできることを見つけて、困っている人がいたら助けてあげたい。など</p>		
<p>5 本時を振り返り、今後の学習につなげる。 今日の話と体験から考えたり感じたことなどを文章で記述する。</p>		